



昨年のイルミ点灯祭の様子

新型コロナウイルスの感染拡大により、岩村地区の最大イベントと自負している「岩村ふれあい祭り」が今年も中止となり、岩村を元気にしたいイベントを

11月27日(土)

いわむら

発行
岩村公民館

49号

岩村を元気にするイベント

イルミネーション祭りを開催

何とか開催できないかと「岩村ふれあい協議会」メンバーが知恵を絞り、昨年開催した「イル

バザー・防災・昔遊び・テイクアウト・点灯式

ミネーション点灯祭」を更にボリュームアップした形で開催しようとして検討した結果、子どもを中心としたイルミネーション祭りと称し楽しい催しを行うこととしました。その計画内容を事前にお知らせしますので、楽しみにしていただけて多くの方が参加していただくようお願いいたします。なお、開催日は11月27日(土)15時からです。

ふれあいバザー
「岩村ふれあい祭り」でも人気の「ふれあいバザー」。地域の家庭の貴重な秘蔵品を提供してもらい、その秘蔵品が他の家庭で利用され、環境にも優しい催しだと思っています。この機会に家庭の隠れた場所を探索してみませんか。

子供と大人の防災教室
近い将来必ず来ると言われる「南海トラフ巨大地震」地震による津波については、これまでよく議論されてきましたが、この岩村地区では津波より家屋の倒壊、そして一番恐れられないけないのが「地震に伴う火災」です。

この火災が起こった時どうしたらいいか、急には対応できません。特に子供たちは対応力が弱いと言われています。火災が起こったときまずしないとけない初期消火。家庭で準備して

いる消火器の使い方事前に知っておくことが大切です。

今回は、南国市消防本部から講師をお招きし火災について防災等のお話を聞くとともに、水消火器によりの火的と見立てて消化する訓練を行います。

世代交流 昔遊び
おじいさん、おばあさんが小さいころ遊んだ遊びを、子供たちと交流しながら製作し、実際に遊んでみて楽しんでもらいます。竹で作る遊び道具は昔の遊びの定番で、肥後ナイフを巧みに使って作って遊びました。

今回は子供たちがナイフを使う作業はありませんので、大人と一緒に見ながらやって出来上がったもので遊んでみましょう。女の子の定番、「おはじき」や「あやとり」で男女問わず楽しんでみても良いですね。

なお、予定のゴメンジャーは、他のお祭りの関係で登場できなくなりましたので、ご容赦ください。

(2面に続く)

岩村の歴史 ヒストリア

第15回



生保3年(1647年)建立の棟札が残されている蔵福寺の地蔵堂。本村集落東方部にあります。



深淵城跡の碑、江戸時代の300年間この地に蔵福寺があった

蔵福寺はどこへ行ったのか

かつて蔵福寺島の語源となった蔵福寺がここにあったのは多くの住民の知るところであり、小字(ホノキ)にも、「寺屋敷」があります。現在の共同墓地のあたりです。

天正16年(1589年)・長宗我部元親の時代)の鏡村岩村地検

帳(原文のまま)に蔵福寺領地の記載があり、戦国の長宗我部時代は蔵福寺島にお寺の影はあったようです。

江戸時代は本村にあったそれが慶長年間に立田村移転となつています。徳川家康が江戸幕府を開いたのが慶長8年(1603年)ですから、このころではないかと予測されます。

立田本村のこの地には遍照寺というお寺がありました。が、不思議なことに慶長年間に五台山

竹林寺の命によりなんと蔵福寺に改名しています。それから廃仏毀釈の明治4年まで300年間この地に存在しました。その後建物(本堂)が「立田小学校」として有効利用されました。

遍照寺(蔵福寺)のあったこの地は13世紀の南北朝時代には、深淵城のあった土地(立田・本村) 埴内地区はかつて西深淵村といわれていた)で1336年南北朝の戦いで北朝方が深淵城・岩村城を焼き払ったと有名な「佐伯文書」に書き残されています。

この深淵城跡の碑は南国市が現地に設置しています。

り、この事は南国市史上巻89頁(900頁目)に記載されています。長宗我部の時代(安土桃山時代)にはすでに存在していたこととなります。江戸時代には、前述の立田本村「蔵福寺」と田村の「蔵福寺」のふたつが存在したことになるのです。

現在でも、ネットで調べると蔵福寺は茨城県・愛知県・京都府など全国に9寺院あるのみですが、高知県の日章地区に当時は2寺院があった史実は不可解な現象といえます。考えられるのは、浄土宗派と日蓮宗派の政治的背景があったのではないのでしょうか。

田村の蔵福寺は室町時代に創立
では、田村にある蔵福寺との関連はどうなるのか?。昔から地元で伝わる伝説として蔵福寺島 本村 田村へ寺院のご本尊の一部(仏像や掛け軸など)が物部川の洪水で流されて、その地に「蔵福寺」が建立されたと言われていました。がこの説はどうも間違いのようです。

田村の蔵福寺はなんと永正2年(1505年)に創立されてお

結論として、蔵福寺島にあった蔵福寺は、江戸時代に本村の遍照寺が蔵福寺に改名し、明治4年の廃物希釈まで存在し、廃寺となりました。一方、田村の蔵福寺は室町時代後期に創立され、一時期、無住職の時代もありましたが今日、令和の時代まで存続しているのです。

(寄稿者・福船 和田真一)